1．医学部医学科教育

平成14年度に、新しいカリキュラムに基づく全学教育並びに専門教育授業が導入され、本年度で4年目を迎えた。新たな1年生に対しては、大学教育機能開発センターを中心とした授業評価とその反省のもとに、改善された授業メニューが提供された。一方、4年次に進級した学生には新カリキュラムに基づく授業が予定通り開始された。今後更に、学年進行で特に専門教育を中心として新カリキュラムが正式に導入されていく予定であるが、医学教育改革に対する社会的要求はとどまるところを知らず、緊急性も高い。我々も臨機応変に寄せる波に対応すべく適宜、いわば“新カリキュラムの改善”と実施可能な学年から「まったなし」での改善カリキュラムの実行に取り組んできた。

（平成17年度　　医学部長：兼松隆之、教務委員長：中園一郎、学生委員長：高橋晴雄、
入試委員長：関根一郎）

A．全学教育

平成14年度、全学教育が始まって以来の大幅改訂に基づく新カリキュラムが施行された。従来全学教育科目として行われていた教養から専門への橋渡しとなる科目（B科目群）は、実質廃止・改編され専門科目として行われることになった。必修単位数も47単位から30単位へ大幅に削減され、履修単位数の上限も設けられた。また、新入生を対象に始まった少人数教育「教養セミナー」は、その有効性の評価法と小グループを構成する教員及び学生の専門性の違いに関する問題点を含みながらも、平成17年度も実施された。医学部は、全学教育に於いて選択科目群の中核の一つである「人間科学分野」の責任部局として運営を担っている。本年度医学科からは、講義科目ではのべ95名の教員が17科目の授業を担当した。また、19名の医学科教員が教養セミナーを担当した（表1）。

B．専門教育

平成14年度より1年次では、全学教育授業日が週3日間に減り専門教育授業日が週2日間に増加すると共に、新カリキュラムが導入されている。従来全学教育で行われていた専門準備科目がなくなり、以前から行なわれている「人間生物学」に加えて「細胞生物学」「医学統計学」「生物化学」「生物・化学実習」が新たに専門科目に付け加えられた。特に、長崎大学医学部医学科の特色ある教育として「原爆医学概論」が平成14年度から、また「医学は長崎から」が平成15年度から新規科目として開始された。1年次「医と社会」では、医学科・保健学科の共修の授業も企画された。また、学生による授業評価と表裏一体をなすものとして学生の成績評価の厳格化が求められ、2年次から3年次への進級バリアーが新たに設けられた。新カリキュラム2年次及び3年次に於いては、基本的には従来の枠組みを維持しながら、コア・カリキュラムの積極的な活用による授業時間の短縮を行ない、一方でより進んだ内容を少人数グループ形式の選択必須科目として提供する「医学ゼミ」を平成15年度から導入した。5年次以上の学年に関しては、従来の60分授業と90分授

業の混在型から1コマ90分に統一されたことに伴う若干の枠組みの変更と、平成11年度のカリキュラム改訂に伴う学年進行に基づく改訂が行なわれた。3年次のリサーチセミナーは、昨年と同様各基礎教室に4名以内の学生が配属された。また総計4名の学生が海外実習に参加した（表3)。臨床実習協定締結施設は37施設、臨床教授・臨床助教授・臨床講師も26名に増加した（表4)。

平成17年度の卒業生は98名でその国家試験合格率は88.8％であった（既卒者を加えると82.5％)。

C. 共用試験

本年度は「臨床実習開始前の共用試験」の問題作成と正式な共用試験が行われた。共用試験とは、知識・技能・態度をコンピューター試験（CBT）と客観的臨床能力試験（OSCE）の二本立てで評価するものである。CBT実施に向けて本学にも100題以上の問題作成が依頼され、21名のCBT問題作成委員会を組織して問題作成及びそのブラッシュアップを行った。また、CBTは、共用試験実施機構からの派遣監督者の出席のもと、平成18年1月23日、1月24日、の2回に分けて実施し、再試験は平成18年2月10日に行われた。OSCEは､4年次後期科目「診断学」の試験として実施され、外部評価者として6名の評価委員が参加した。この共用試験は4年次から5年次への進級要件となっているが、受験者全員が合格した。

D. 医学教育高度化への試みと第5回医学部医学科FDの実施について

課題探索・自己問題解決型学習能力の賦与、全人的医療人教育の場としての離島活用及び臨床実習の高度化を目指し、平成16年度から5年次各科ローテーションを従来の13組各3週から14組各2週に短縮し、5年次にProblem Based Learning（PBL）チュートリアルを導入すると共に、一週間にわたる離島医療実習を新たに開講した。更に6年次に高次臨床を実施した。特にこの離島医療実習への取り組みは、平成16年度特色ある大学教育支援プログラムに採択された。本年度から上五島地区もこの離島医療実習に参画した。また、医師国家試験の実施時期の繰り上げと受験回数制限、及び本学に於ける合格率の低迷を受けて、最終試験（卒業試験）のあり方に関して総合試験の導入も含め卒業判定のあり方について検討中である。

今回のFDは7月4日（月）に山口大学医学部　福本陽平教授（医学系大学間共用試験実施評価機構医学系CBT実施小委員会臨時委員）をお招きし、「CBT客観試験の問題作成の手順」という表題で御講演頂いた。その後ワークショップと全体討論を行った。今回のFD参加者は49名で、熱心な議論が続いた。これらの討議内容が、本学医学教育の更なる改革に向けた有効な一手につながる事を祈念する。

（文責：医学部医学科　教務委員長　中園一郎）

表 1　平成 17 年度　医学部医学科教員の全学教育への参画

A．全学教育授業科目担当の医学部医学科教員

分野	授業科目名	担　当　教　員
共通基礎科目	教養セミナー	伊藤　敬、佐藤　浩、永山雄二、矢野捷介、岡本圭史、近藤達郎、高村　昇、塚崎邦弘、桶上賀一、森内良三、安武　亨、吉浦孝一郎、秋野公造、上園保仁、田島義証、田中邦彦、大谷　博、藤村幸一、松本逸郎
	教養特別講義	相川忠臣、関根一郎
情報処理科目	情報処理入門	三根眞理子、本田純久
健康・スポーツ科学科目	健康スポーツ科学	青柳　潔
	健康科学	青柳　潔、難波裕幸、諸岡浩明、今村　明、大曲勝久、中根秀之、山近史郎、安部恵代、伊東　勉、井上統夫、山本智一
人間科学科目	人間の科学	小澤寛樹、篠原一之、中園一郎、永田　泉、森　望、磯本一郎、伊東昌子、大津留晶、古賀成彦、近藤達郎、増崎英明、秋野公造、芦澤和人、津留　陽、中根秀之、守屋孝洋、森川　実、寺薗英之
	生体の機能	金武　洋、近藤宇史、澄川耕二、丹羽正美、髙橋晴雄、北岡　隆、永田　泉、瀬戸信二、古賀成彦、調　漸、井原義人、上園保仁、山下康子、田中邦彦、泉川公一、伊東　勉
	生命の科学	由井克之、中込　治、松本逸郎、アハメド・カムルディン、本間季里
	人間と環境	奥村　寛、今村　明、中根秀之、山本智一
	生体の構造	小路武彦、松山俊文、関根一郎、菱川善隆、中山俊幸、中島正洋、江島邦彰
自然科学科目	生物の科学	岡市協生
	数理科学	柴田義貞
総合科学科目	現代の生命像	兼松隆之
	情報と歴史	相川忠臣
	平和講座	三根眞理子
	放射能の光と影	上谷雅孝、三根眞理子
留学生用科目	日本事情	青柳　潔、江石清行、本多正幸

B.　全学教育関連委員会の医学部医学科委員

<table>
<tr><th colspan="2">委　員　会</th><th>委　員</th></tr>
<tr><td colspan="2">全学教育実施委員会</td><td>中園一郎（教務委員長）</td></tr>
<tr><td rowspan="12">全学教育実施委員会（科目別専門委員会）</td><td>教養セミナー専門委員会委員</td><td>永山雄二</td></tr>
<tr><td>教養特別講義専門委員会委員</td><td>本多正幸</td></tr>
<tr><td>情報処理科目専門委員会委員</td><td>柴田義貞</td></tr>
<tr><td>健康・スポーツ科学専門委員会委員</td><td>進藤裕幸</td></tr>
<tr><td>外国語科目専門委員会委員</td><td>由井克之</td></tr>
<tr><td>人文・社会科学専門委員会委員</td><td>長島聖司</td></tr>
<tr><td rowspan="3">人間科学専門委員会委員</td><td>小路武彦</td></tr>
<tr><td>篠原一之</td></tr>
<tr><td>北岡　隆</td></tr>
<tr><td rowspan="3">自然科学専門委員会委員</td><td>佐々木　均</td></tr>
<tr><td>伊藤　敬</td></tr>
<tr><td>佐藤　浩</td></tr>
<tr><td>総合科学専門委員会委員</td><td>下川　功</td></tr>
<tr><td>留学生用科目専門委員会委員</td><td>森内浩幸</td></tr>
</table>

表２　平成 17 年度　１～６年次授業科目（系）責任者

学年	授業科目	責任者
1年次	医と社会（医学入門）	髙橋晴雄
	人間生物学	伊藤　敬
	細胞生物学	山下俊一
	医学統計学	柴田義貞
	生物化学	伊藤　敬
	生物・化学実習	伊藤　敬
	原爆医学概論	朝長万左男
	医学は長崎から	相川忠臣・小路武彦
	人体構造系Ⅰ	長島聖司
2年次	医と社会	相川忠臣・中園一郎
	人体構造系Ⅱ	長島聖司
	神経・感覚器系	森　　望
	発生・組織系	小路武彦
	動物性機能系	篠原一之
	内臓機能・体液系	相川忠臣
	生体分子系	伊藤　敬
	分子遺伝系	新川詔夫
	医学ゼミ	中園一郎
3年次	医と社会	髙橋晴雄
	医学ゼミ	中園一郎
	感染系	片峰　茂
	免疫系	由井克之
	病理総論系	下川　功
	腫瘍系	松山俊文
	分子病態系	近藤宇史
	環境因子系	奥村　寛
	薬理系	谷山紘太郎
	病理各論系	田口　尚
	リサーチセミナー	篠原一之
	内分泌･代謝･栄養系	江口勝美
	循環器系	矢野捷介
	呼吸器系	河野　茂
	血液・リンパ系	朝長万左男
4年次	医と社会	髙橋晴雄
	脳・神経系	中村龍文
	運動系	進藤裕幸
	消化器系	関根一郎
	腎泌尿器系	金武　洋
	生殖系	石丸忠之
	視覚系	北岡　隆
4年次	耳鼻咽喉口腔系	髙橋晴雄
	免疫・アレルギー疾患系	江口勝美
	皮膚系	佐藤伸一
	精神系	小澤寛樹
	小児系	森内浩幸
	感染症系	中込　治
	法医学系	中園一郎
	診断学	大園惠幸
	放射線医学	上谷雅孝
	臨床検査医学	上平　憲
	外科治療学	兼松隆之
	社会医学	青柳　潔・柴田義貞
	医学ゼミ	中園一郎
5年次	医と社会	髙橋晴雄
	社会医学	青柳　潔
	法医学	中園一郎
	内科総括講義	江口勝美
	精神神経科総括講義	小澤寛樹
	小児科総括講義	森内浩幸
	外科総括講義	兼松隆之
	整形外科総括講義	進藤裕幸
	皮膚科総括講義	佐藤伸一
	泌尿器科総括講義	金武　洋
	眼科総括講義	北岡　隆
	耳鼻咽喉科総括講義	髙橋晴雄
	放射線医学総括講義	上谷雅孝
	産婦人科総括講義	石丸忠之
	麻酔科総括講義	澄川耕二
	脳神経外科総括講義	永田　泉
	形成外科総括講義	平野明喜
	心臓血管外科総括講義	江石清行
	臨床検査医学総括講義	上平　憲
	総合病理学	関根一郎
	臨床特論	朝長万左男
	臨床特論（臨床薬理）	佐々木　均
	臨床特論(東洋医学／応用薬理)	丹羽正美
6年次	内科総括講義	江口勝美
	医と社会	髙橋晴雄
	最終臨床総括講義	矢野捷介

表３　平成 17 年度　後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
解剖学第一	森　望	脳の老化と神経再生：神経分化と神経再生のメカニズムを探る	1
	森　望	神経活動とシナプス形態：Homer-Shc系分子によるアクチン骨格制御の分子機構	1
	秋野公造	皮膚再生のメカニズムを探る：表皮組織の再生過程におけるShc系分子の役割	1
	秋野公造	間葉系幹細胞と放射線：放射線被爆下における幹細胞の増殖分化への影響を探る	1
	森　望	健康寿命シグナルへの緑茶効果：高濃度カテキンの秘密	1
解剖学第二	長島聖司 分部哲秋	人体の局所解剖	1
	岡本圭史 佐伯和信	人体の局所解剖	2
解剖学第三	小路武彦 菱川善隆	鉄過剰投与ラットにおける肝再生の細胞動態解析	2
	小路武彦 菱川善隆	マウス生殖細胞におけるエレクトロポレーション法を用いたin vivo遺伝子発現・機能解析	2
生理学第一	松本逸郎	実験動物を用いたエコー断層撮映装置による循環、内臓機能の解析	1
	松本逸郎	炎症性物質による発熱機構の解析	2
	松本逸郎	炎症性物質による摂食障害とグルココルチコイドの効果	2
生理学第二	篠原一之	乳幼児の母子間コミュニケーション	1
	守屋孝洋	ニューロステロイドによる神経幹細胞の機能調節メカニズムについて	1
	藤村幸一	体内時計の光同調に関わる視交叉上核ニューロンの応答	1
生化学	伊藤　敬	肝再生におけるクロマチン構造の変化とその役割	1
	伊藤　敬	メチル化CpGにおける脱メチル化酵素活性の解析	1
	伊藤　敬	ヒストンK9における脱メチル化酵素活性の解析	1
薬理学第一	丹羽正美	血液脳関門（BBB）の機能	1
	中川慎介	血液脳関門（BBB）と薬物の中枢送達	1
	山下康子	虚血性神経細胞死の機構解明と治療薬の探索	1
	田中邦彦	癌の浸潤・転移におけるタイトジャンクションの役割	1
薬理学第二	谷山紘太郎	消化管運動改善薬の探索	2
	上園保仁	GABAB受容体の持続的な活性化の分子機構	2
	林　日出喜	細胞死（アポトーシス）関連遺伝子のクローニング	1
病理学第一	大谷　博 下川　功	膵ラ氏島におけるNeuropeptide Yの発現：カロリー制限および成長ホルモン抑制の影響	1

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
病理学第一	小松利光 下川功	カロリー制限における転写因子FoxO1の役割：ストレス応答を中心として	1
	樋上賀一	長寿モデルの白色脂肪組織における転写因子Foxa2の代謝におよぼす影響	2
	千葉卓哉	老化に関連する転写因子の探索と機能解析	2
病理学第二	田口尚	腎疾患の病理学的研究	2
公衆衛生学	高村昇 尾崎誠	生活習慣病の分子疫学	1
	高村昇 尾崎誠	チェルノブイリ周辺地域におけるヒバクシャ医療支援と分子疫学	2
	安部恵代 青柳潔	寒冷暴露時の皮フ温	1
免疫機能制御学	本間李里 由井克之	免疫反応における転写因子IRF-4の機能メカニズム	2
	都田真奈 由井克之	抗マラリア防御免疫応答と記憶の機構解明	2
法医学	中園一郎 池松和哉 津田亮一	頸部圧迫脳におけるEarly Respone Geneの動態解析	1
	中園一郎 池松和哉 津田亮一	皮膚損傷部タンパクの発現動態解析	1
	中園一郎 池松和哉 津田亮一	法医剖検心筋における心筋蛋白質のプロテオーム解析	1
原研病理	中山敏幸	マウス放射線誘発腫瘍の検討	1
	中島正洋	原爆被爆者固形がんの分子疫学	1
	関根一郎 七條和子 松山睦美	放射線障害の病理学的検討	1
原研放射（アイソトープ実験施設）	岡市協生	変異p53による遺伝子の発現誘導	1
	井原誠	DNA損傷修復系の解析	1
	松田尚樹 奥村寛	細胞のストレス応答機構に関する研究	1
原研生化	井原義人 近藤宇史	小胞体分子シャペロンによる細胞内情報伝達制御	1
	浦田芳重 近藤宇史	エストラジオールによるアポトーシスシグナルの制御機構	1

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
原研生化	後藤信治 近藤宇史	抗がん剤によるDNA傷害を防御する解毒酵素の意義	1
原研疫学・ 原研情報	柴田義貞 本田純久 三根真理子	厚生統計からみる長崎県	2
	三根真理子 柴田義貞 本田純久	被爆者健康調査の分析	2
原研遺伝	新川詔夫	世界民族における耳あか型遺伝子多型の頻度	1
	吉浦孝一郎	唇裂・口蓋裂の原因遺伝子解析	1
	三輪晋智	薬剤耐性遺伝子の機能解析	1
	新川詔夫 （木住野達也・ 近藤新二,遺伝 子実験施設）	IRF6の機能解析	1
原研細胞	難波裕幸	放射線誘発甲状腺がんの研究、BBchip研究	2
	光武範吏	甲状腺がん幹細胞研究	2
	岩永正子 （タチアナ・ログノビッチ）	ベラルーシ共和国における甲状腺疾患の分子疫学調査（海外派遣予定）	2
原研分子	永山雄二 斉藤巨樹	①自己免疫性甲状腺疾患の病態解析 ②放射線と免疫	2
感染防御	河野友子	ATL細胞特異的な作用をもつ微生物由来の生理活性物質の分離同定	1
	安井潔	転写因子NF-kappaBの作用を阻害する微生物由来の生理活性物質の分離同定	1
感染分子	森内良三	がん遺伝子Tgatの機能解析	1
感染分子	坂口末廣	プリオン蛋白の生物学	1
病態分子疫学	中込治 中込とよ子 アハメド カムルディン	ロタウイルスの分子疫学	3
先導生命科学研究支援センター比較動物医学分野	佐藤浩 大沢一貴	ヒヒヘルペスウイルス（HVP2）の遺伝子解析	1
熱研分子構造	森田公一	遺伝子工学手法によるキメラウィルス（人工ウィルス）の作出	3
熱研病原因子	和田昭裕 平山壽哉	ヘリコバクター・ピロリの空胞化毒素の作用機序	1

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
熱研感染細胞	神原廣二	インドネシア・ロンボク島マタラム市スラムにおける腸管内寄生原虫	1
	柳哲雄	インドネシア・ロンボク島マタラム市スラムにおける腸管内寄生原虫	1
	上村春樹	マラリア原虫の薬剤感受性遺伝子：フィールドサンプルの解析	1
熱研寄生行動	青木克己	糸状虫感染幼虫の血清への走化性	1
熱研炎症細胞	中村三千男	スーパーオキシド産生に関与するgp91Phoxの構造のシミュレーション	1
	栗林太	食細胞NADPHオキシターゼの活性化	1
	藤井仁人	新GTミスマッチ結合タンパク質のクローニング	1
熱研生物環境	高木正洋 川田均	新しい媒介蚊防除法の検討	2
熱研分子免疫	平山謙二 菊池三穂子	マラリア抵抗性と関連する遺伝子多型の解析	1
	平山謙二 菊池三穂子	赤内型マラリア抗原に対する感染抵抗性集団の免疫応答性解析	2
熱帯感染症研究センター	門司和彦 本田純久 金田英子	Health and Demographic Surveillance Systemの構築に関する新技術の検討	2
熱研感染症予防治療	有吉紅也	発展途上国における抗HIV・エイズ	1
長崎大学病院病理部	林徳真吉 安倍邦子 木下直江	1）診療における病理診断の位置づけと役割の認識 2）臨床ー病理症例カンファレンスで症例呈示 3）日本語または英語で症例報告執筆	2

海外派遣実習生

大学名	実習学生数
ベラルーシ医科大学	4

表４　Ａ　平成 17 年度長崎大学医学部臨床実習協定締結施設

	施　　設　　名	協 定 年 月 日
1	長崎市立市民病院	平成８年５月31日
2	日本赤十字社　長崎原爆病院	平成８年５月31日
3	長崎市立病院成人病センター	平成８年６月１日
4	長崎県立大村病院	平成８年６月１日
5	社会福祉法人　長崎市障害福祉センター	平成８年６月１日
6	財団法人　長崎県総合保健センター	平成８年６月１日
7	医療法人春回会　長崎北病院	平成10年５月20日
8	江上耳鼻咽喉科医院	平成11年５月31日
9	医療法人祥仁会　西諫早病院	平成12年６月19日
10	医療法人白十字会　佐世保中央病院	平成12年７月21日
11	長崎市中央保健センター	平成12年11月24日
12	医療法人友愛会介護老人保健施設にしきの里	平成12年11月24日
13	医療法人清潮会介護老人保健施設みどりの里	平成12年11月24日
14	日本海員掖済会　長崎病院	平成13年５月11日
15	阿南皮膚科医院	平成13年５月11日
16	医療法人北辰会　久保皮膚科医院	平成13年５月11日
17	国立療養所長崎病院	平成13年５月11日
18	ゆきなり・クリニック	平成13年７月10日
19	虹が丘病院	平成13年８月７日
20	医療法人昌生会出口病院	平成14年７月18日
21	国立病院長崎医療センター	平成15年６月12日
22	佐世保市立総合病院	平成16年８月１日
23	長崎県五島保健所	平成16年８月１日
24	五島市国民健康保険三井楽町診療所	平成16年８月１日
25	五島市国民健康保険玉之浦診療所	平成16年８月１日
26	岐宿町岐宿診療所	平成16年８月１日
27	山内診療所	平成16年８月１日
28	長崎県離島医療圏組合　五島中央病院	平成16年８月１日
29	長崎県離島医療圏組合　富江病院	平成16年８月１日
30	長崎県離島医療圏組合　奈留病院	平成16年８月１日
31	五島市健康政策課	平成16年９月１日
32	五島市社会福祉協議会福江支所	平成16年９月１日
33	離島医療圏組合上五島病院	平成17年９月１日
34	小値賀町国民健康保険診療所	平成17年９月１日
35	上五島保健所	平成17年９月１日
36	新上五島町健康推進課	平成17年９月１日
37	新上五島町社会福祉協議会	平成17年９月１日

B．平成 17 年度長崎大学医学部臨床教授，臨床助教授，臨床講師一覧

称　　号	氏　　名	施　　設　　名
臨 床 教 授	楠　本　征　夫	長崎市立市民病院
臨 床 教 授	宮　田　昭　海	長崎市立市民病院
臨 床 教 授	鈴　木　　伸	長崎市立市民病院
臨 床 教 授	中　尾　　丞	日本赤十字社長崎原爆病院
臨 床 教 授	中　島　成　人	日本赤十字社長崎原爆病院
臨 床 教 授	古　河　隆　二	日本赤十字社長崎原爆病院
臨 床 教 授	森　田　茂　樹	日本赤十字社長崎原爆病院
臨 床 教 授	谷　口　英　樹	日本赤十字社長崎原爆病院
臨 床 教 授	中　碕　隆　行	日本赤十字社長崎原爆病院
臨 床 教 授	田　浦　幸　一	長崎市立病院成人病センター
臨 床 教 授	須　山　尚　史	長崎市立病院成人病センター
臨 床 教 授	田　所　正　人	長崎市立病院成人病センター
臨 床 講 師	矢加部　和　明	長崎市立病院成人病センター
臨 床 教 授	辻　畑　光　宏	特別医療法人春回会長崎北病院
臨 床 教 授	佐　藤　　聡	特別医療法人春回会長崎北病院
臨 床 教 授	江　上　徹　也	江上耳鼻咽喉科医院
臨 床 教 授	千　葉　憲　哉	医療法人祥仁会西諫早病院
臨 床 教 授	植　木　幸　孝	医療法人財団白十字会佐世保中央病院
臨床助教授	松　本　一　成	医療法人財団白十字会佐世保中央病院
臨 床 教 授	平　松　公三郎	独立行政法人国立病院機構長崎病院
臨 床 教 授	馬　場　輝実子	独立行政法人国立病院機構長崎病院
臨 床 教 授	高　橋　克　朗	長崎県立精神医療センター
臨 床 教 授	藤　岡　ひかる	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
臨 床 教 授	上之郷　眞木雄	佐世保市立総合病院
臨 床 教 授	神　田　哲　郎	長崎県離島医療圏組合五島中央病院
臨 床 教 授	古　井　純一郎	長崎県離島医療圏組合五島中央病院